

「海の生物」坊勢漁協中間育成場実習

令和7年1月21日（火）午後、2年生の学校設定科目「海の生物」選択生徒5名（引率教員1名）が網手港発奈座港行きの定期便を利用し、坊勢漁協のご協力で「幼稚魚中間育成場」の施設見学に行ってきました。この中間育成場は、平成2年に設置され、今年で35年になります。その間ヒラメをはじめ多数の幼稚魚を中間育成し、放流してきました。

施設には大きな水槽が多数設置され、ヒラメ・カレイ・オニオコゼの幼魚が多数観察できました。生徒たちが職員の方に、『育成期間・放流尾数・種類・給餌方法・放流効果等』多くの質問をしていたのが印象的でした。また、幼魚への餌やりもさせていただき、日ごろの教室ではできない体験学習ができました。

このような貴重な体験実習をさせていただいた坊勢漁協の皆様、ありがとうございました。

